

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2055 号

Correlation of nutritional indices on admission to the coronary intensive care unit with the development of delirium

(CCU 入室時の栄養状態とせん妄発症との関連)

杉田 有里那 (すぎた ゆりな)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、急性心血管疾患患者における入院時の栄養状態とせん妄発症との関連について検討したものである。先行研究では、術後患者において術前の低栄養状態が術後急性期のせん妄発症と関連することが報告されている。近年、慢性心不全のような慢性疾患に伴う低栄養状態がカヘキシアの進行、さらにサルコペニアやフレイルに繋がることが提唱されており、高齢化社会において心血管疾患患者における栄養状態のアセスメントがさらに重要視されつつある。せん妄はストレスに対する脳の生理学的予備能の低下つまり脳の脆弱性を示唆するものであり、フレイルの一症状としても捉えられるようになってきている。しかし、心血管疾患患者において入院時の栄養状態がせん妄発症と関連するかどうかについては明らかにされていない。そこで本研究は急性心血管疾患患者の入院時の栄養状態がせん妄発症と関連しているかどうかについて検討することを目的とした。結果、両者は関連していることが示された。また、低栄養状態が重症であるほどせん妄スコアの最大値が有意に高値であることも示された。よって、急性心血管疾患患者における入院時の低栄養状態が、入院中のせん妄発症の予測因子となる可能性が示唆された。以上より、本論文は、急性心血管疾患患者において入院早期から栄養状態を評価し適切な栄養介入、フレイルの是正を行うことでせん妄発症を予防でき、心血管疾患患者の生命予後改善に繋がる可能性を示している。せん妄発症予防の観点から、心血管疾患患者の予後改善に向けて早期より栄養状態評価・介入を行うことの重要性を示唆する論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。